

子どもたちが撮った被災地

東日本大震災の被災地で子どもたちが撮影した写真展「MESSAGEL」語り継ぐ想い」が東播磨地域の各会場で開かれている。主催した加古川青年会議所は「被災地で懸命に生きる人たちの姿を見て、日本人の忍耐力や思いやりの心を再認識してもらいたい」と期待している。入場無料。

大震災2年

会場は、加古川市役所や稲美町役場（いずれも18日まで）、加古川市・県東播磨生活創造センター「かこむ」（31日まで）、播磨町中央公民館（18日〜4月1日）の4か所。写真は計80点で、被災地の映像の配信活動などを行っているNPO法人映像情報士協会（神奈川県鎌倉市）の復興支援メディア隊から提供された。

作品は、同NPOが宮城、岩手、福島3県の中学生に

東播磨4会場で写真展 懸命に生きる人々 自然に

カメラを渡して撮影してもらったという。がれきの残る道を自転車で部活に向かう野球部員や、避難所で幼い子どもに本を読み聞かせる少女の姿などが収められている。地元の子どもたちが撮影することで、災害に負けずにひたむきに頑張る地域の人たちの自然な表情をとらえられたという。

加古川市役所の写真展を訪れた、同市尾上町の主婦(45)は「被災地の子どもた



中学生が撮影した被災地の風景(加古川市役所で)

ちの笑顔に元気をもらった。いつ起きるかわからない震災への恐れを持ち続けたい」と話した。

4月15日午後7時から、同市加古川町北在家の市民会館で、震災の語り部として全国で活動している「東日本大震災を風化させない活動推進センター」の中井政義所長の講演会が行われる。入場無料で先着300人。問い合わせは同会議所（079・423・3076）へ。

東播磨

姫路支局

〒670-0964
姫路市豊沢町135
大同生命ビル2F
☎079-222-2431
FAX 281-9010

ホームページ
<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hyogo/>

神戸総局

〒650-0023
神戸市中央区栄町通
1-2-10
☎078-333-5115
FAX 333-5120